

登録番号 13 — 035
氏名 阿波 雅士

登録番号 15 — 012
氏名 三浦 紀夫

登録番号 18 — 008
氏名 深沢 周代

大阪市地域公共人材活動報告書

1 派遣日時 令和4年12月20日（火） 10:00～12:00
(第1回次)

2 派遣場所 西島こども食堂

3 参加人員 6人

4 活動内容（当日使用した資料等があれば、別途添付すること）

派遣内容（ミッション）

当該団体からは、「ブログ内で魅力のある西島こども食堂がわかりやすく伝わるように表現方法を知りたい」というメインテーマをいただきました。さらには、運営コストを削減することも重要な課題と受け止めて、今後の広報のありかた、運営コストの削減策などを提案できることにすること。

支援内容（どんなことをしたか）

前回頂いた資料内にあった支出一覧を見ながら改めてどのような支出項目が削減できるかを検討、提案した。中でも独自メールアドレスが複数あることからドメイン料が必要以上にかかっている可能性があることがわかり、ほかには印刷費削減の事例紹介や新たにつながりを検討できる支援団体紹介などを行った。

成果（話し合いの結果、今後の予定）

（団体の現状、整理事項）

- ・団体の方が自らの足や手を使いかなり広くコミュニケーションを取り、実働実績があることがわかった。
- ・SNS等ネットを使った広報を咲くやこの花高校のボランティアに依頼できるか提案する
- ・ホームページの見直しを自ら検討し、新たなボランティアから協力を得ていた
- ・ネット関係でもっと無駄を削減できるよう次回明細を持ってきてもらう
- ・現在の活動にかかる支出項目で削減できるものは多くなったことと、ホームページやブログなど広報面をもっと「見られるものにするべし」という西島こども食堂メンバーからの指摘もあり、あらためて寄付として収入を増やす、ボランティアや次世代メンバーを募りやすくするなどのために、ホームページに掲載する項目を検討する。

（次回計画）

- ・ネット環境にかかる経費をより細かく見せて頂き削減方法を検討する。
- ・ホームページに掲載するべき内容のアイデア出し
- ・ホームページや広報に関する継続方法や人材集めの検討
- ・無料またはそれに近い形で使えるコンテンツの活用検討
- ・次世代人材の募集など長い目で見た活動の継続方法案を検討

(所感)

あらためて、団体の方のこども食堂にかける思いの強さを感じることができた。ただお一人でひたすら動き続けているという状態であるため、無償ボランティア仲間だったり、同地域内において協力してくれる（今後をまかせられる）人探しが必要であると実感できた。

幸いにも、12月のこども食堂では、250名以上の食糧配布のために協力者がいたことや、咲くやこの花高等学校の先生や学生に協力を得られているが、実質はお一人で、運営されているので、運営状況に合わせた支援体制がどれくらいあるのかを考えさせられた。

コスト削減をメインテーマとした第1回の派遣だったが、コスト以上に人的協力の必要性を強く感じたので、次回は、寄付行為を呼びかけることを含めて、協力者募集にも尽力できればと思った。

(所感)

団体の方は外部団体との交渉がとても上手だと感じました。それにより、こども食堂を運営していく物品面の資源については豊富だということがわかりました。ただ、ボランティアなどの人的な資源が不足しており、特に町会関係など地域住民を巻き込む必要性を感じました。初回ヒアリングから同席してくださっている団体メンバーが、地域住民内の人脈や団体の方とは違った視点のアイデアをたくさんお持ちのようです。団体の方の意識が少し変われば、現状の弱い部分はかなり補える要素はあると思われます。次回以降、ネット環境の整理をしていくうえでコスト削減は進むと思います。あとは後継問題も含めて一緒に運営してくれる仲間作りが大きな課題だと感じました。

(所感)

団体の方の中で、改めてこのコロナ禍の中、食料などの物資提供からリアルなコミュニケーションがより取れる本来の「こども食堂」復帰の思いが強くなっていました。一方、実際に動いていくからこそ今以上に周囲に協力してもらえるだろう人であること、活動であることの可能性もお話ししていく強く感じたので、団体の方がもっとラクに楽しくこの活動を継続できるサービスやアイデアを話し合っていきたいと思います。

以上